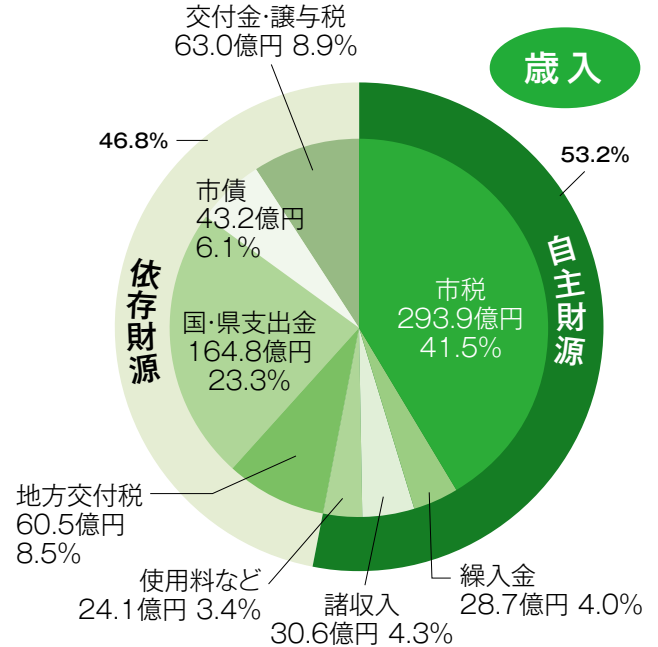
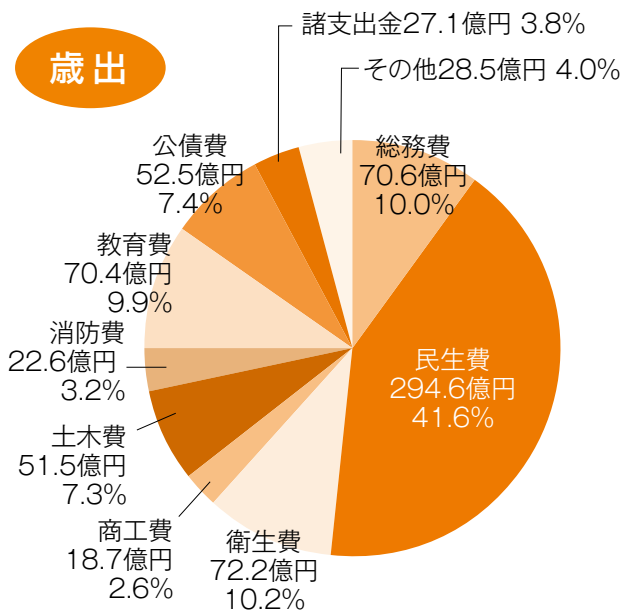


過去最大の予算で諸課題に対応

一般会計・特別会計・企業会計 総額1,238億7,238.2万円

5年度一般会計予算

708億8,000万円 (前年度比+2.0%)



※小数点第2位以下は四捨五入しており、必ずしも合計は一致しません。

主な事業



土砂災害防止対策事業

1億7,900万円

土砂災害から市民の生命と財産を守るため、人家2戸以上もしくは公共的建物のある急傾斜地の崩壊を防止する工事を実施。



豊川公園整備事業

5億7,542万2千円

スポーツとにぎわい創出に資する機能の充実を図るため、外周園路や芝生広場、休憩施設、駐車場などの新設を実施。



豊川産農産物普及推進事業

896万4千円

とよかわ花マルシェの開催により、豊川産花きのPR及び需要喚起を図るなど、市内イベント及び県内外の発展にて豊川産農産物のPRを実施。

その他の会計

特別会計

会計名	5年度当初 (前年度比)
豊川西部土地地区画整理事業	2億1,240万円 (+ 20.2 %)
豊川駅東土地地区画整理事業	1億 270万円 (△ 54.6 %)
公共駐車場事業	7,870万円 (+ 14.7 %)
国民健康保険	148億8,350万円 (△ 0.4 %)
後期高齢者医療	32億7,030万円 (+ 5.9 %)
土地取得	4億4,140万円 (+ 50.6 %)
一宮財産区管理事業	80万円 (△ 27.3 %)
赤坂財産区管理事業	300万円 (+ 15.4 %)
長沢財産区管理事業	380万円 (+ 8.6 %)
萩財産区管理事業	890万円 (△ 3.3 %)
計	190億 550万円 (+ 1.1 %)

企業会計

会計名	5年度当初 (前年度比)
水道事業	52億9,029.2万円 (+ 6.9 %)
下水道事業	79億6,251.5万円 (+ 3.9 %)
病院事業	207億3,407.5万円 (+ 5.8 %)
計	339億8,688.2万円 (+ 5.5 %)



5年度一般会計予算を可決!

予算特別委員会

一般会計予算案に対する各会派の総括質疑

ここが聞きたい! 5年度予算

【問】 5年度予算の認識は。

【答】 物価高騰対策、地域経済の活性化等に向けた取り組みを推進しつつ、第6次総合計画などを重点施策として、諸課題に対応するため積極的な編成を行った。市制施行80周年の節目の年で、一般会計予算の語呂に合わせ「なお羽ばたく豊川市」が実現できる予算である。

【問】 道路の維持管理に係る今後の取り組みは。

【答】 道路河川管理課に巡視修繕係を新設。職員パトロールにAIシステムを導入し、職員が行っていた舗装の穴埋め等の作業を業者へ委託することにより、パトロールの効率化や、予防保全に向けた調査、情報収集の進捗を図る。

【問】 子ども食堂に関する今後の取り組みは。

【答】 補助制度の創設に当たり、中学校区に1カ所の設置を目指している。5年

度に2カ所の増を見込むが、新たに開設予定の一宮中学校区に加え、未設置の音羽・御津・小坂井中学校区にも設置できるように、担い手の発掘や働き掛けを進めたい。

【問】 民生費の動向は。

【答】 年々増加傾向で、5年ほどで約30億円増加。保育施設等の整備に係る普通建設事業費の増加など臨時的な要因もあるが、扶助費の増加、後期高齢者医療療養給付費負担金など、様々な社会的支援施策により増加が続いている。

【問】 インボイス制度未登録業者を取引先から外すことのないようにしてほしいが、考えは。

【答】 総務省の通知を踏まえて、工事、業務委託、物品購入等の入札に当たり、制度への登録の有無を入札参加資格要件とすることは考えていない。

原案可決

5年度一般会計予算

本 会 議 論

反対

山村都市交流拠点施設の負担金に係る土地の単価が高額で、税金は充てられない

・東三河広域連合への負担金のうち、山村都市交流拠点施設の土地代について、通常は宅地以外では用いない取引事例比較法で、価格の高い事例を参考に鑑定されている。このような単価の出し方をした土地購入費に貴重な市民の税金を充てることはできず、反対する。

・とよかわボランティア・市民活動センターは、相談件数が年間700件ほどで、ボランティアセンターウイズでも対応できると考える。男女共同参画センターなど、より市民サービスに配慮した窓口を検討すべき時期に来ており、反対する。

・物価高騰、子育ての費用負担軽減などへの対策が不十分である。5年度は、大型建設事業の基本計画や実施設計策定等に本格的に着手する段階となるが、急ぐ必要のない事業の延期や簡素化など見直しを行い、財源は市民の暮らしに使うべきであり、反対する。

賛成

様々な市民ニーズを踏まえ、諸課題に対し適切に対応している

物価高騰対策や地域経済の活性化に向けた取り組みを推進しつつ、市制施行80周年記念事業を着実に実施し、「もっと元気なとよかわ」を目指す積極的な姿勢で、支出全般にわたる見直しや自主財源の確保などに努めている。

歳出では、人口の社会増を目指した新規工業団地の整備や、65歳以上の高齢者世帯に向けた特殊詐欺対策装置の購入支援、不妊治療のうち、生殖補助医療に係る治療費についての助成制度の創設、また、東三河では初めてとなる道路自動点検システムの導入など、様々な課題に取り組んでいる。

歳入では、事業進捗に沿った国庫支出金を最大限に活用しつつ、繰入金や市債で不足を補填するなど、着実な事業進捗を図るとともに、後年度への負担にも配慮している。

直面する諸課題に対し適切に対応しており、賛成する。

※会派別賛否の状況については、7ページの議決状況の一覧でご確認ください。